

ザイル祭山行 丹沢：セドノ沢左俣

- ◆日程 2017年9月2日(土)
- ◆メンバー L：小林、前田、小山田、岡村
- ◆天候 曇り のち 晴れ

台風15号が小笠原諸島に接近中の中、前夜の夜から雨が降り始める。朝起きてみると、まだ雨は降ってはいるものの、予定通り決行との連絡が入り覚悟を決めた。予報では朝のうち雨で、午後には止むとのこと。予報を信じて集合場所の渋沢駅に向け家を出る。皆と集合後、渋沢からバスに乗り、大倉に着く頃には雨が止み、雨雲も薄れて天候回復の兆し。何よりも天候不順により、登山者がほとんどいない状態であったのは嬉しい限りだ。車も登山者もいない戸川林道を歩き続け、林道の終点地点で沢装備へと準備する。

まずは水無本谷沢から入渓する。昨夜からの雨のせいか、流れる川の水量が多く勢いがある気がする。気温も少し涼しげだ。本谷F1を超えるとセドノ沢の入口との分岐点。ご丁寧に看板が設置されて迷う心配はなさそうだが、なんかバカにされている感じもする。小滝が多くあり、飽きのない沢であったが、水量も多く、涼しい環境の中で濡れたくはないと、勇気ある撤退と称して巻き道を選ぶこともしばしばありました。その巻道も最後のツメにおいても、スリリングな場所が多く、落石にも注意を払いながら急勾配なガレ場を登っていきます。途中に、私は花には興味ないのだが、「サガミジョウロウホトトギス」という花が咲いており、足場の悪い環境の中で感動する仲間の姿が印象的でした。あまりに花の名前を連呼するので名前を覚えてしまい、帰宅後に調べてしまったくらいです。

今回の沢は、岩がもろくて崩れやすかったです。掴んで崩れないか確認しながらの遡行は神経を使うし時間もかかります。その緊張感から解き放たれた下山時の表尾根からの景色は、富士山こそ雲で隠れていたものの、都心、江の島、湯河原、伊豆半島まで見渡せるご褒美を頂戴しました。最後に、入渓時から心配していたヒルの被害も1~2ヶ所程度でホッと、ザイル祭に参加すべく、皆で大倉山の家へと移動となりました。



CT：大倉山の家 7：25-戸沢登山センター 8：46/9：13-セドノ沢入口 9：50-セドノ沢左俣 10：00-休憩・右岸枝沢の滝 11：08/11：12-表尾根登山道 13：28-新大日 13：35-烏尾山 14：47/15：00-戸川林道 15：50-大倉山の家 17：00

(記：前田)